RT注目点検 検査

リガク

「Radioflex」シリーズ

大型構造物の点検に効果を発揮

リガクの工業用ポータブルX線発生装置「Radioflex」シリーズは、設定された管電圧に対するエネルギー帯が常時一定に出力される「コンスタントポテンシャルタイプ」（CP）の製品。昨年7月の「メンテナンス・レジリエンスTOKYO」に出展し、多数の来場者から注目を集めた。

同シリーズ「RF－2522CP」の上位機種である「同3500CP」は、3・5分間のX線照射で55ミリの鉄厚を透過撮影でき、大型構造物の点検にも効果を発揮する。最大管電圧は300キロボルトでありながら、従来のパルス方式の350キロボルト相当透過能力を有しており、LNGタンクや、現在需要が伸びている造船・インフラ設備など高エネルギーのX線が必要な分野で期待されている。

従来比約6・3キロの軽量化を実現し、最大30分（従来機は10分）の連続照射が可能など、様々な点で性能が向上した。管電流は0・5mAステップで変更できるほか、多様な入力電源に対応。消費電力についても、従来比約50%減となり、省エネにも貢献する。

「Radioflex」

ポニー工業

「Linatron Xp」

ケース収納のポータブル仕様

ポニー工業のRT注目製品は、ポータブルライナック装置（直線加速器）「Linatron Xp」（バリアン社製）。X線発生器部と電源・制御部があらかじめ輸送可能なケースにおさめられており、移動しながらの作業に適している。さらに、立上げ時間5分とセットアップを短時間で行うことができ、NDT以外にも、セキュリティ関連での実績を有する。

X線発生器の寸法は845×495×409ミリ、重量は64キロ。制御装置は813×495×409ミリ、46キロ。

同社はほかにも、モジュール式高エネルギーX線加速器「Linatron－M」シリーズを幅広く販売する。同シリーズはモジュール式のシステムで、制御用コンソール・モジュレータおよびRF装置で構成されている。出力エネルギーとシールドにより数種類のパッケージをラインアップするほか、ユーザー固有の機能を搭載することも可能。

NDTアプリケーションで使用される「Linatron M1」は小型、軽量のシールドパッケージ。同「M3&M3A」はNDTとセキュリティ両分野で活用されている。

問合せは、同社営業企画室（電話06－6262－6510、E-mail:t.yamazaki@ponyindustry.co.jp）担当・山﨑まで。

「Linatron Xp」

トーレック

「RIX－MC－2」

新制御器により作業性向上

産業用から医療用まで、幅広いX線装置・計測器を販売するトーレックは、携帯型の工業用X線発生装置「RIX－MC－2」シリーズを自社の注目製品に紹介する。

同製品は、現場での使い易さや単独での撮影作業を考慮した、小型・軽量な操作性に優れたX線発生装置。プリセット方式により、ワンタッチで連続撮影ができるほか、自動エージング、保護回路、自己診断機能を装備するなど、抜群の信頼性を有する。

また、制御器をモデルチェンジし、管電圧の設定ピッチが1キロVステップで可能となったほか、照射時間についても1秒ステップで設定ができるなど、きめの細かい条件設定を実現。さらに、供給電源を自動認識し、一般家庭用電源（100V）からも電源供給が可能など、作業性を向上させるための豊富な機能を揃えた。

コンクリート壁の内部検査や、石油コンビナートのパイプライン、ガス配管の継ぎ目部の溶接部検査など、適用対象は多岐にわたる。

同製品の問合せは同社（電話045－531－8041、FAX045－531－3922）担当・美濃部まで。

「RIX－MC－2」シリーズ

富士フイルム

「DYNAMIX SYSTEM」など

優れた画像品質で精度向上に寄与

富士フイルムは、IP画像読取装置「Dynamix HR2」と、画像表示・計測ソフト「Dynamix VU」で構成された高精度な検査画像を生成する非破壊検査用デジタルX線画像システム「DYNAMIX SYSTEM」を販売。画質・検査精度向上に貢献する。

高水準の信号雑音比（SNR）・空間分解能・濃度分解能の達成により、圧倒的な高画質を実現するほか、対象物ごとに最適な画質が得られる自動濃度補正機能などにより、様々な現場における検査精度向上に寄与する。

自動測定ツール「Dynamix VU Thickness」は、パイプの肉厚測定を自動化。またパイプ溶接部が効率的に撮影できるロングIPに対応し、長さ1.52メートルまでの読取を実現する。

また、優れた画像品質、濃度ムラの少なさなどでユーザーから高い評価を得る工業用X－レイフィルムシリーズに、新たに「IX30」を追加しフルラインアップ可。同製品は、複合材料部品や薄肉溶接部、電子部品などの微細な欠陥、内部構造の検出に優れた性能を発揮する。

「DYNAMIX SYSTEM」

つくばテクノロジー

「TXR－C1R150P－02」

機動性生かし狭隘な現場で活躍

つくばテクノロジーは、小型X線検査装置「TXR」シリーズから、「C1R150P－02」を自社のRT注目製品に紹介する。

同製品は、カーボンナノ構造体X線管を利用し、100～150keV、30～200ms、最大2mAのパルスX線を発生させる。余熱不用で省電力化に貢献するほか、小型軽量により高機動性を実現するなど、様々な特徴を持つ。

筐体サイズは、本体215×235×70ミリ、コントローラー165×125×80ミリ（バッテリー除く）とコンパクトな仕様のため、従来の大型X線装置を持ち込むことが難しいプラントの配管検査などの狭隘な現場にも容易に適応する。

全ての操作はノートPCのみで行うことができ、コントローラーでは20メートル離れた場所からも操作が可能。PC画面でリアルタイムに検査画像を確認しながら作業を行うことができる。

「TXRシリーズ」のほか、同社では産業用X線装置を幅広くラインアップ。高圧電線用や、建築用コンクリート向けなど、検査対象や用途に応じた様々な製品を揃える。

「TXR－C1R150P－02」